

我孫子市史研究センター・会報276号 (通算582号)

発行・編集 我孫子市史研究センター

発行日 令和7年5月29日

歴史探訪部会 5月の活動報告

「七里ヶ渡・布施河岸跡と紅龍山東海寺」を訪ねる

長谷川 秀也

行程：我孫子駅北口 8:51 発(阪東バスあけぼの山公園入口行)～公園入口下車～一茶句碑～弁天古墳～布施道高架橋～七里ヶ渡～旧布施道～薬師堂～昼食(11:25 コハレキッチン)着～布施弁天～南龍寺～布施道・諏訪道(うなぎ道)追分～布施香取神社～善照寺～八坂神社～荒屋敷バス停～我孫子駅北口着 15:30(解散) 参加者：14名

当日は好天に恵まれ我孫子駅北口を定刻出発。公園入口(9:06)下車、10分程で公園北端にある「小林一茶 句碑」に到着。3月下旬から4月上旬にかけて、あけぼの山公園は満開の桜とチューリップを楽しむ人達や屋台が並び賑やかだった。今日は散歩をする人もなく我々であけぼの山を独占。でも、何故か物足りなさも感じた。次の探訪地、石枕が出土した弁天古墳から七里ヶ渡(利根川河口から90km上流)へ。布施から船戸に広がる流作場は、現在柏市最大の水田地帯(約840町歩)に代わり、田植えの時期を迎え一面水が張られていた。



(利根川堤防上の碑)

七里ヶ渡・布施河岸跡は目印として鈴懸の巨木が2本立っているだけである。説明板がなければ雑草で覆われた利根川川辺で、常陸・奥州・銚子方面から江戸への物資集散地として繁栄した河岸を、想像することも出来ないだろう。

昼食後、布施弁天、名主で河岸問屋の後藤家を経て南龍寺へ。寺は新四国相馬霊場八十八ヶ所 26番札所で、元観音堂の大師堂には弘法大師の石像とともに1,000体の観音像が安置されている。南龍寺薬医門前には左江戸道、右流山道と刻字された道標があり、我々は流山道(うなぎみちと呼ばれていた)を選び次の探訪地布施香取神社へ向かった。覆屋に覆われた本殿三方壁面には「司馬温香公の霊割」「黄石公と張良」と題した優れた彫刻が施されている。香取神社境内に庚申塔や多くの石造物と共に、足尾山の石祠(嘉永5年)があった。我孫子市中峠の足尾山神社から勧請したものか。隣地の善照寺(時宗)の寺は 柏市、松戸市で各1ヵ寺では、43代住職から寺の開基・歴史・地勢や我孫子中学校から久寺家中学校が独立した当時の事、布施の人達は柏駅より我孫子駅を利用している事など興味深い話をしてくれた。



(南龍寺門前の道標)

最後の探訪地八坂神社は地元では神輿殿とも呼ばれ、神輿が社殿の中央に安置されている。毎年7月15日前後の日曜日の祭礼日に氏子が神輿を車に乗せ、布施地区6ヶ所の坪を廻り災厄よけを祈願する。また、布施東海寺は宝永2年(1705)此处から亀の子山に移設された。

布施城跡は八坂神社から利根川に臨む台地一帯を占めていたと云われるが城に関する築造物は殆どない。守谷相馬氏の出城で七里ヶ渡を中心とした常陸川の水上権を掌握していた。

布施荒屋敷バス停(八坂神社から徒歩10分)15:14 発乗車、我孫子駅北口着 15:30。解散。